

日本語版への序文

はじめに

第一部……………007

第一章 問題設定……………008

科学技術と国際問題の相互作用に対する評価……………011

基本的な問題提起……………014

理論的争点および文献に関するコメント……………015

社会変化の要因としての科学技術……………017

「科学」および「技術」の意味について……………020

本書の構成……………023

第二章 科学技術活動の営為と技術変化方向……………027

歴史的展開……………027

新たな科学技術の営み……………033

財源について……………034

技術の進化……………037

政府と産業の影響／科学技術内部からの影響

科学技術の成果とインパクトのパターン……………054

第一部……………065

第二章 安全保障……………068

核兵器システム……………071

戦略核関係における科学技術的要素……………075

技術情報の拡散と輸出規制の強制……………075

監視システム……………080

C³Iと近接カップリング問題……………082

時間のもつ重要性の変化……………086

その他の技術とミサイル防衛について……………087

軍事力および軍事的能力の変化と拡散……………095

通常兵器の改良……………096

技術に関する知識の拡散……………099

武器貿易……………100

核拡散と新たな核保有国……………102

諜報活動について……………107

軍備管理……………109

若干の要約……………114

第四章 経済・政治と科学技術……………132

地球規模の統合……………133

ソ連、東欧、そして情報の流れ	136
世界的な金融市場	144
多国籍業	151
経済成長と貿易競争	156
工業市場主義	158
ハイテク貿易／致命的な技術の依存性の問題／知的所有権について	173
統制経済	173
南北間の技術移転と依存関係	178
技術移転と国内の受容力	180
技術による依存関係	182
技術アクセス／比較優位性／地球規模のシステム	182
古くて新しい次元…地政学的測度	187
天然資源	187
人口	190
食糧と農業	194
エネルギーと原子力	198
宇宙	210
環境問題	214
科学技術	217
大規模システム	218
脆弱性	219

最初の技術標準化……………223

若干の手短なコメント……………227

第五章 地球の危機……………254

地球温暖化問題……………256

地球温暖化の特徴……………264

利害関係の相互依存／巨複雑大システムの相互作用／不確実性について／グローバルな特質

科学と科学者に対する依存／地球の脅威

国際政治に及ぼす影響……………274

不確実な問題として現れる地球温暖化問題／脅威と認識されている地球温暖化問題／

進行中のカタストロフィとして見た地球温暖化問題

追加的考察……………282

その他のグローバルな危機……………284

第六章 政治に関する実質的な問題——制度と政策過程……………293

時間の問題……………293

政策課題の中にある技術的な内容……………298

外務担当省庁の役割……………302

国際協力……………303

国際組織……………306

その他補足的な問題……………310

まとめ..... 314

第三部..... 319

第七章 結論と考察..... 320

結論の要約とその一般化..... 321

主権・経済と政治における自治と権威..... 321

競争と従属..... 325

比較優位／選択肢の拡大／科学技術を基にした従属関係／巨大技術システム

軍事力と核兵器..... 331

通常兵器と政治パワーの発展と拡散..... 333

他の地政学的要因..... 335

新しい問題領域..... 337

科学技術の過程と成果とその意義..... 339

国際政治理論から見た考察..... 342

政策的意味について..... 347

結びの言葉..... 350

監訳者あとがき..... 356

装幀 熊沢正人

